

## 第 1 章 栗山町の景観資源の特性と課題

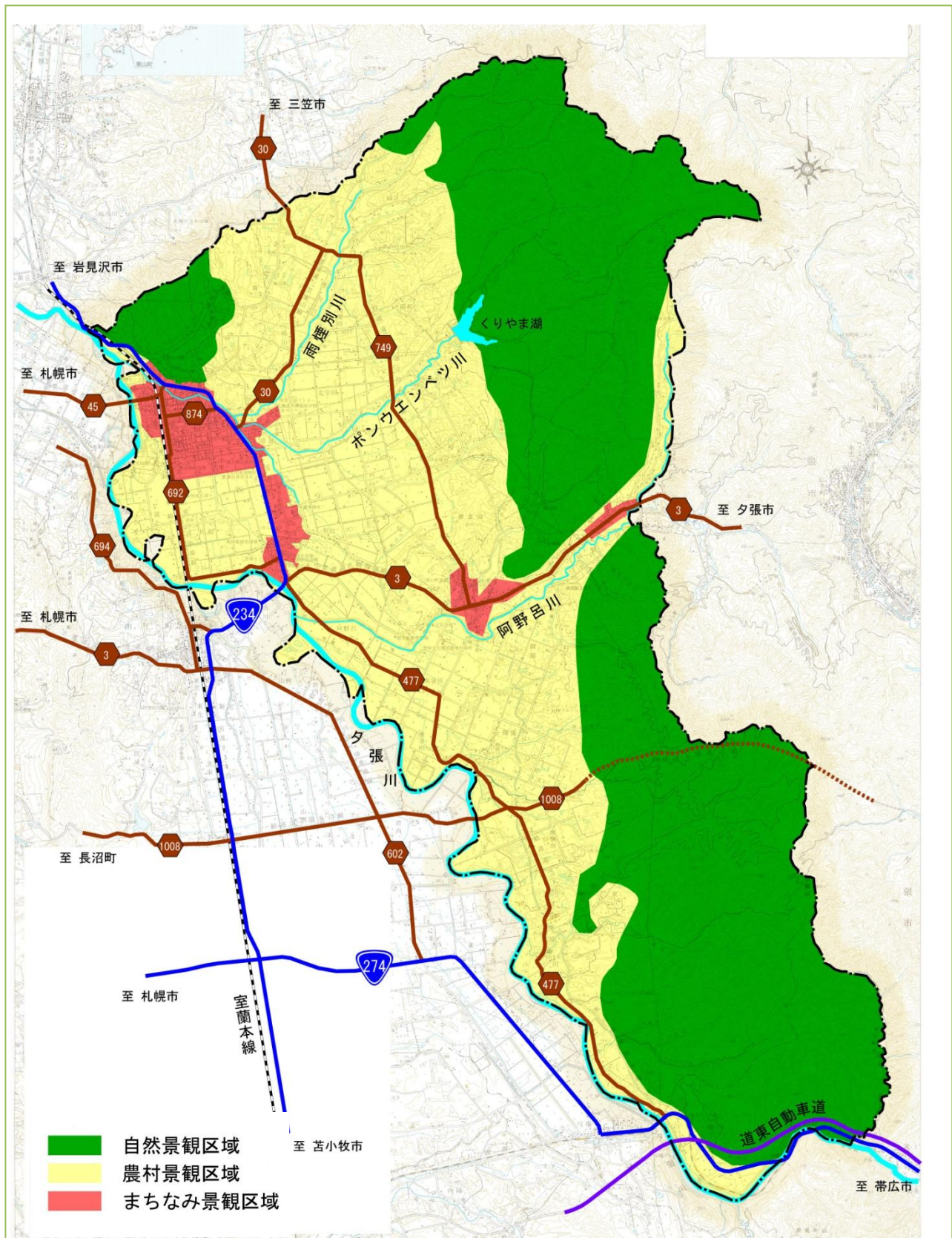
### 1 栗山町の景観資源

#### (1) 栗山町の景観骨格

栗山町の景観は、クッタリ山系と夕張山系につづく緩やかな丘陵地帯の森林を中心とした「自然景観区域」、丘陵地帯と夕張川に挟まれた平野部に広がる「農村景観区域」、JR 栗山駅を中心に形成された栗山市街地や角田、継立、日出地区とまちなみを形成する「まちなみ景観区域」の3つのまとまりに区分され、これらをつなぐ夕張川の本流、支流、国道や道道といった幹線道路、鉄道が景観の軸となっています。

景観骨格		特 徴	
景観的まとまり	自然景観区域		市街地北側の御大師山をはじめ、町域の東側のなだらかに連なる山間地域には、水と緑の豊かな森林景観が広がり、栗山町の景観の背景として重要な要素となっています。
	農村景観区域		山間地域すそ野の丘陵地から夕張川流域にかけた平野部には四季折々に彩りを変える田畑が広がり、点在する集落や住宅、屋敷林がアクセントとなって美しい田園景観を形成し、栗山町で最も重要な景観要素となっています。
	まちなみ景観区域		周囲の自然景観や農村景観に溶け込むように栗山、角田、継立、日出の市街地や集落が形成されています。特に栗山の市街地では「栗山町の顔」にふさわしいまちなみづくりが町民の主体的な取り組みのもとに行われています。
景観の軸	夕張川の本流、支流		町域の西側を南から北へと流れる夕張川とこれに注ぐ支流の河川(雨煙別川、ポンウエンベツ川、阿野呂川等)は、水と緑のうまいある景観を創出する重要な景観の軸となっています。
	幹線道路		緩やかなカーブを描きながら続く幹線道路は、市街地～農村地域～山間地域と次々と変化し、連続する景観を楽しむことができる栗山町の魅力を伝える重要な視点場の軸となっています。
	鉄道		町域の西部を南北に JR 室蘭本線が縦貫しています。その車窓からは遠く自然景観を背景に、まちなみ景観、農村景観の移り変わる景色を楽しむことができ、栗山町の魅力を伝える視点場として重要な軸となっています。





■ 栗山町の景観骨格



※ 自然景観区域、農村景観区域、まちなみ景観区域の境界は、都市計画マスタープランをはじめ、町の土地利用の方針の変更によって変わる場合もあります。

## (2) 栗山町の景観資源

景観的まとまりや景観軸を骨格としながら、以下に示すような景観資源が栗山町の魅力を高めています。栗山町の景観資源を、1. 自然景観、2. 農村景観、3. まちなみ景観の3つの景観と、4. 関連するまちづくり活動などに分けて整理します。

1. 自然景観	代表的な景観資源・取り組み			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御大師山（ファーブルの森）</li> <li>・夕張川(白鳥、水鳥の飛来)</li> <li>・竜仙峡</li> <li>・くりやま湖(栗山ダム、水鳥の飛来)</li> </ul>			
 <p style="text-align: center;">御大師山</p>	 <p style="text-align: center;">水鳥の飛来(夕張川)</p>	 <p style="text-align: center;">竜仙峡</p>	 <p style="text-align: center;">くりやま湖(栗山ダム)</p>	

2. 農村景観	代表的な景観資源・取り組み			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平野部、丘陵地の水田・畑作風景と連なる山並み</li> <li>・文化屋根<sup>※1</sup>建物、農家住宅屋敷林のたたずまい</li> <li>・大井分の白樺防風林</li> <li>・不動の滝</li> <li>・歴史的建造物(旧雨煙別小学校、100年を超える阿野呂民家など)</li> <li>・御園神社の桜</li> <li>・氷河期に形成された河岸段丘<sup>※2</sup>に広がった農地</li> </ul>			
 <p style="text-align: center;">水田と山並み</p>	 <p style="text-align: center;">ジャガイモ畑</p>	 <p style="text-align: center;">文化屋根の建物</p>	 <p style="text-align: center;">大井分の白樺防風林</p>	
 <p style="text-align: center;">不動の滝</p>	 <p style="text-align: center;">雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス</p>	 <p style="text-align: center;">御園神社の桜</p>	 <p style="text-align: center;">河岸段丘の小麦畑</p>	

※1文化屋根：傾きが2段階で2階が広く使える屋根の形式(マンサード・ギャンブレル屋根)のことを総称して北海道で言われていた。  
 ※2河岸段丘：河川に沿った階段状の地形で、氷河時代から現在までの気候変化(寒冷化や温暖化)に伴う河床の上昇や低下によってつくられました。平坦な部分を段丘面、急崖部分を段丘崖といいます。

### 3. まちなみ景観

- ・栗山市街地
- ・角田、継立、日出地区

#### 代表的な景観資源・取り組み

- ・開拓記念公園
- ・栗山公園
- ・夕張川河畔広場
- ・歴史的建造物(泉記念館、小林酒造酒蔵)
- ・レンガ通り



開拓記念公園



栗山公園



夕張川河畔広場



泉記念館



小林酒造酒蔵群



角田地区



継立地区



日出地区

### 4. 関連活動、

意識啓発事業

など

#### 代表的な景観資源・取り組み

- ・新町通、長沼通の街路整備計画
- ・農の景観作物普及モデル助成事業、栗山里山美しモデル事業、栗山町景観緑肥モデル事業
- ・ハサンベツ里山づくり
- ・栗の木プロジェクトの取り組み
- ・エコビレッジ湯地の丘分譲地
- ・花いっぱい運動・全町一斉清掃
- ・栗の樹ファーム



新町通のまちなみ整備イメージ



景観作物普及モデル助成事業  
(サルビア)



景観緑肥モデル事業  
(キカラシ)



ハサンベツの里山づくり



栗の木プロジェクト



エコビレッジ湯地の丘



花いっぱい運動



栗の樹ファーム

## 2 栗山町の景観特性と課題

### (1) 自然景観

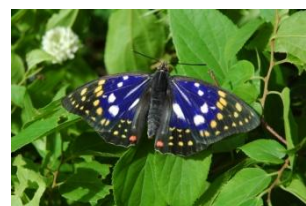
栗山町の自然景観は、国蝶オオムラサキの生息する御大師山をはじめ、クッタリ山系、夕張山系へとなだらかに連なる丘陵、山間地が町域の北側から東側にかけて町全体を囲むように森林地帯を形成し、緑豊かな森林景観を形成しています。

町の西側には河畔林に覆われ多様な水生生物の生息する母なる川、夕張川が悠大に流れ、上流部の竜仙峡は美しい溪谷美を堪能できる秋の紅葉スポットとなっています。

ポンウエンベツ川上流の山間部には栗山ダムの造成によって形成されたりやま湖があり、夕張川と共に渡り鳥が翼を休める中継拠点となっています。

森林は、夕張川支流の雨煙別川、ポンウエンベツ川、阿野呂川などの水源地ともなり、豊かな森の養分をたくさん含んだ土壌はこれらの河川によって運ばれ、栗山町の肥沃な大地をつくりだす源となっています。

夕張市へと向かう道道3号札幌夕張線の沿線からは、緑の深い豊かな森林景観を堪能できる一方、脇道に入ると不法投棄物やポイ捨てゴミなどが見られるなど、周囲の自然環境と調和した沿道景観の形成が課題となっています。



国蝶オオムラサキ



秋の竜仙峡

### (2) 農村景観

遠く山並みの自然景観を背景に、山間部のすそ野となっている鳩山、湯地、緑丘、昭和、桜山、御園、東山の丘陵地には畑が、さらに氷河時代に夕張川に沿って発達した河岸段丘の段丘面の平野部には水田を中心としたのどかな田園景観が広がっています。

播種から収穫などの耕作の風景や、小麦、水稻、ユリ、ジャガイモなどの四季折々に農作物が作り出す変化に富んだ彩りある田畑の風景など、農業の営みそのものが栗山町の代表的な景観資源となっています。

道道749号鳩山継立停車場線や道道477号滝下由仁停車場線などの沿道からは、このような田園の景観が延々と続き、腰折れの文化屋根建物や農家住宅周りの屋敷林、防風林等がアクセントとなって里山的な農村景観を楽しむことができます。

また農村部には、木々の静寂の中で清流が流れ落ちる不動の滝、木造校舎を再利用した趣のある雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス(旧雨煙別小学校)、100年を超える阿野呂の農家住宅など歴史のある建物など栗山町独特の景観資源も数多く存在します。

一方、同一敷地内で住宅と倉庫などの色彩が不統一な集落の存在や、空き家、廃屋などの増加、耕作放棄地、通信鉄塔の存在など農村景観を阻害する要因も見られ、その対策が課題となっており、一次産業を基幹産業とする栗山町の付加価値を高められる農村景観の形成が求められます。



桜山の丘陵地



河岸段丘に広がる水田

### (3) まちなみ景観

栗山町の市街地等まちなみは、栗山市街地、角田、継立、日出地区に区分されます。

栗山市街地の景観は、御大師山を背景とした自然豊かな栗山公園一带の景観や、歴史ある小林酒造の酒蔵群の佇まいとこれに隣接する夕張河畔公園が景観スポットになっています。また、駅を中心とした商店街ではまちづくり協定に基づくまちなみ整備が行われているとともに、市街地においては町民参加による手づくりレンガで整備されたレンガ通りなど、栗山町の中心地区にふさわしいまちなみづくりが行われています。

栗山市街地と工業団地を挟んで連なる角田地区には、開拓記念公園、開拓記念館、泉記念館などの栗山町の開拓の歴史に思いを馳せることのできる環境が整い、継立地区や日出地区は、周囲の農村景観に調和したまちなみ形成がなされています。

これらのまちなみにおいては、空き地、空き店舗の発生や、廃屋の増加などが目立ってきており、遠方の自然景観、農村景観の眺めを阻害する通信鉄塔の存在と新たな鉄塔整備の懸念などが課題となっており、自然景観や農村景観との調和、さらには栗山町の歴史の記憶を活かした魅力的なまちなみ景観の形成が求められます。



栗山市街地のまちなみ



角田地区のまちなみ



レンガ通り

### (4) 関連活動・意識啓発事業など

栗山町第5次総合計画では、「ふるさと栗山です。」を合い言葉に町民が主役となって、人・自然・文化・産業のつながりで創るまちづくりをめざしています。

町民が主役となった取り組みとしては、「ハサンベツ地域における里山づくり」や「サケのもどって来る川づくり」など自然再生の取り組みが活発に行われています。

まちなかを舞台とした取り組みとしては、「花いっぱい運動」や「全町一斉清掃」など町民参加の環境美化活動を毎年実施してきています。

平成20年には御大師山に隣接する丘陵地に、自然と環境ととけ合う暮らしを実現できる「エコビレッジ湯地の丘」が分譲され、住み手がつくりあげていく新しいまちづくりが行われています。

また、すぐ近くには、プロ野球日本ハムファイターズ監督の栗山英樹さん手づくりの野球場「栗の樹ファーム」があり、天然芝の敷き詰められた美しい球場は、野球少年たちの聖地ともなっており、町民に愛されるふるさと栗山の景観資源となっています。

このような町民の活動、民間の活動が主体となった景観づくりにつながる取り組みをより一層強く推進し、ふるさと栗山の景観をまもり、ととのえ、つくり、はぐくむことが必要です。



ハサンベツの田植えの様子



サケの遡上調査



栗の樹ファーム